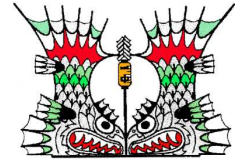




一中われら

第3号
5月11日発行
文責 校長



【校是】 **覇 気** 【学校教育目標】 未来を主体的に切り拓いていくことのできる、
覇気ある生徒の育成

久々の全校応援盛り上がる。定期戦、一中快勝。

コロナのため2年連続で全校応援の中止を余儀なくされていましたが、今年はコロナ対策をとりつつ実施しました。2年間の中止により一中生全員が初めての定期戦応援となりましたが、伝統の応援を力強く披露してくれました。特に2回の攻撃、2アウト満塁からの3連打の場面では、ウェーブも行われ大いに盛り上がりました。

初回の攻撃。セカンドに出塁した鈴木優太朗選手は、相手の内野ゴロ処理にミスが出たのを見逃さず、一気に先制のホームイン。「常に先の塁を狙って攻めていったのがよかった。ベンチも盛り上がっていた。」と語ってくれました。2回、2アウト満塁で打席に立ち、見事ヒットを放った越後拓翔選手。「後につなげるつもりでコンパクトに振り抜いた。応援が大きく聞こえて、とても励みになった。」とコメントしてくれました。

校長としては、やっぱり全校応援あつての定期戦であることに思いを強くしました。年度当初に、定期戦を通して集団としての団結力を高めることが、今後の学校行事や学校都市活動の成功に大きく寄与します。1年生は一中生になったことを自覚し、3年生はリーダーシップを発揮することで最上級生としての自覚が高まります。また、一中生、二中学生がお互いをリスペクトし、健闘やファインプレーをそれぞれたたえ合う姿は五月晴れの空のようにすがすがしく、伝統として脈々と受け継がれている意味・すばらしさを再確認することができました。やっぱり定期戦は最高です。

【試合結果】

二中	0	0	0	0	0	0	0	0
一中	1	4	0	1	0	2	×	8



吹奏楽の演奏に合わせて応援



応援をリードした幹部



勝利にガッツポーズ